

池中だより

- 【教育目標】
- すすんで学び実践する人
 - 感謝する心を持ち責任を果たす人
 - 心身ともに健康な人

5月号

平成25年5月1日

豊島区立池袋中学校

これからが本当の始まり

校長 堀 利 光

始業式・入学式から三週間が過ぎ、中学校生活が本格化しています。新しい学校・学級での生徒との出会い。先生方との出会いがありました。新入生にとってはそれぞれの先生方の授業方法や給食のやり方、部活動のルール等全てが知らないことばかりで毎日が緊張の連続だったことでしょう。そんな四月が終わり、さわやかな気候の五月となりましたが、今までの緊張の糸が切れたりゆるんだりするのも実はこの時期なのです。

まずは登校です。遅刻ギリギリで来る生徒が何人かいます。しかも同じ顔ぶれ。息せき切って教室に入って、次の行動がとれるのか心配です。起床時刻や家を出てくる時間を再チェックして、余裕を持って登校してください。

そして、学習です。ことある度に「学校は勉強する道場である」と言っています。道場であるからには厳しい部分があります。自分を甘やかすことのないようにたゆまぬ努力を続けてください。

- ・ 忘れ物をしない 宿題や提出物は期日までに必ず仕上げるという断固とした覚悟が必要です。
- ・ 始業のチャイムが鳴る前には自席につき、授業を受ける準備をする 昼休みに目いっぱい身体を動かしチャイムで慌てて教室へもどる生徒がいます。これで五時間目の授業は大丈夫なのでしょうか。
- ・ 授業に集中する 先生の話す言葉はもとより他の生徒が発言したり発表したりする時もしっかり聞くをことが一層学習効果を高めます。

※自分を向上させることを放棄して、机にうつ伏せになっている生徒がいるのが残念です。

毎日の6時間授業をこれだけのことをやるのですから大変だとは思いますが。しかし、学習をしていて、今までわからなかったことがわかった喜びや出来なかったことが出来るようになった満足感は今までのつらさや苦しさを一瞬にして忘れさせてくれる魔力があります。生徒全員がこの気持ちを味わってほしいと願います。

部活動については、「これをごんばる！」と決めたからには卒業するまでの三年間続けることです。部活動をやっていると勉強がおろそかになると考えて途中でやめてしまう人がいますが、そんなことはありません。勉強と部活動をきちんと両立させている生徒はたくさんいます。

学校生活の一部を見てきましたが、それに慣れてきた時が一番危ないと言われています。あの始業式や入学式で一人ひとりの胸に浮かんだ夢や希望、決意を忘れてしまった人はもう一度思い出して目標に近づく。頑張り続けている人は、さらに向上させていくという具合に全員が「学校は自分を成長させるためにいろいろなことを学ぶところである」という目的意識を持って臨んでほしいと考えます。

今月は運動会という大きな行事があります。保護者や地域の皆さんに中学生のパワーを見せる絶好のチャンスです。学校全体で盛り上がっていきましょう。

